

1 単元名 「今の自分」を話します

2 目標

- ・スピーチをすることに興味をもち、伝えたいことがよくわかる材料を選んで話そうとする。(国語への関心・意欲・態度)
- ・言葉の強調や間の取り方などに注意して話すことができる。(話すこと・聞くこと)
- ・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くことができる。

(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

3 単元を貫く言語活動とその特徴

本単元では、「第4学年スピーチ大会を開こう」を単元を貫く言語活動と位置付けた。自分の好きなものについて学年で発表会をすることで、意欲を高められるようにする。友達に正確に伝えたいという思いをもって活動することで、「相手を見たり、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意したりして話すこと」(A話すこと・聞くことウ)を確実に実現できるようにしていく。

4 指導について

(1) 児童観 (男10人 女14人 計24人)

実態調査 (平成25年7月17日実施, 調査人数24人)

本学級の児童に「話すこと・聞くこと」についての意識調査を行った。「話すこと・聞くこと」の活動が好きな児童は7割を超えており、興味関心の高いことが考えられる。一方で、苦手だと答えた児童は、その理由の主なものとして「原稿を書くのに時間がかかって練習の時間が取れない。」「声が小さくなってしまう。」「早口になってしまう。」「原稿ばかり見てしまう。」「などが挙げられた。「練習の時間が取れない」というのは、これまでの学習で、話す練習の時間を十分に確保しなかったことが原因と考えられる。苦手な理由のほとんどが、音声面での課題を挙げている。実態調査の結果を見ても、言葉の強調・間の取り方・目線について身に付いていない児童が多いことが分かる。

話し方の工夫	達成人数
①強調	1人
②間	2人
③話す速さ	11人
④声の大きさ	18人
⑤目線	2人

(2) 教材観

学習指導要領には、「A話すこと・聞くこと」の指導事項に、(1)ウ「相手を見たり、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意したりして話すこと」とある。中学年では、相手や目的に応じて、言葉遣いや視線などに注意しながら音声にも気を付けて話す力が求められている。

本単元では、自分の好きなものについてスピーチをする活動を通して、相手や目的を意識して伝えたいことを選んでスピーチする力、音声で効果的に伝える力、自分と比べながら聞く力をつけることをねらいとしている。効果的な話し方を意識したスピーチの練習をすることで、相手に思いが伝わることを体験できると考える。今まで学習してきたことを生かしてスピーチメモや原稿を作り、それをもとにしてさらに音声で効果的に伝える方法を身に付けることで、スピーチの技能を高められるであろう。

(3) 指導観

「第4学年スピーチ大会を開こう」を単元を貫く言語活動と設定して学習を進めていきたい。この活動において、まず、イメージマップを作ることを手立てとし、自分の好きなことについての材料を整理し、必要なことを選択する学習活動を展開していきたい。次に、スピーチメモをもとにしてスピーチ原稿を書く活動を行う。そこで、効果的な話し方をするときのポイントを書いた「上手な話し方のコツ」シートを準備し、そのポイントをどこに使うかをスピーチ原稿に記入する学習活動を展開する。そして、Webカメラで自分のスピーチの様子を動画で撮り、自分の目線や表情、音声の聞こえ方をチェックシートで確認することで、視覚的・聴覚的に話し方の改善ができるようにしたい。最後に、学年でスピーチ大会を開くことで、効果的な話し方を実践し、力が身についたことを実感できるようにしたい。

5 学習計画及び評価規準 (8時間扱い)

次 (時間)	学 習 活 動	評価規準		評価 方法
		おおむね満足できる状況	観	
1 (1)	・学習の見通しをもち自分の好きなものについてイメージマップに書き、材料を整理する。	・自分の好きなものについて伝えたいことを考えようとしている。	関	観察 ノート
2 (6) 本時 6/6	・話す材料を選び、スピーチの組み立てを考えスピーチメモを作る。	・伝えたいことが分かる材料を選び、具体例を入れて構成をする。	話 聞	観察 ワークシート
	・スピーチメモをもとに、スピーチ原稿を作る。	・話すときの文と文とのつながりや言葉遣いを考えてスピーチ原稿を書くことができる。	話 聞	観察 ワークシート
	・効果的な話し方のポイントを知り、スピーチ原稿に話し方の工夫を書き込む。	・言葉の強調や間の取り方などに注意して、話し方の工夫を書くことができる。	話 聞	観察 ワークシート
	・スピーチ原稿をもとに話す練習をし、動画に記録する。	・話し方の工夫を考え、言葉の強調や間の取り方などに注意して話す練習をすることができる。	話 聞	観察 動画
	・自分のスピーチ動画を見て、話し方チェックシートを使い、自分で話し方を確認する。	・動画を見て、話し方の工夫ができているかを自分で確認し、改善することができる。	話 聞	観察 動画
	・グループでスピーチの練習をし、話し方チェックシートを使い、話し方を確認する。	・動画を見て、話し方の工夫ができているかをグループで確認し、改善することができる。	話 聞	観察 動画
3 (2)	・学級、学年でスピーチの発表会を行い、学習の振り返りを行う。	・伝えたいことが分かるように、効果的な話し方をするすることができる。	話 聞	発表

6 本時に使用するICT機器と場面

使用するICT機器	活用場面	<input type="checkbox"/> 課題の提示	<input type="checkbox"/> 動機付け	<input checked="" type="checkbox"/> 教員の説明資料	<input checked="" type="checkbox"/> 学習者の説明資料
・電子黒板 ・タブレットPC ・Webカメラ		<input checked="" type="checkbox"/> 繰り返しによる定着 <input type="checkbox"/> 比較	<input type="checkbox"/> モデルの提示 <input checked="" type="checkbox"/> 振り返り	<input type="checkbox"/> 失敗例の提示 <input type="checkbox"/> 体験の代行	<input type="checkbox"/> 体験の想起 <input type="checkbox"/> その他(交流活動)

7 本時の目標とICT活用のねらい

本時の目標	・タブレットPCで自分のスピーチの動画を見て、友達からアドバイスをもらう活動を通して、話し方の工夫ができているかを確認し、改善することができる。
ICT活用のねらい	・自分のスピーチの動画を繰り返し見ることで、話し方の工夫を確認・改善できるようにする。

8 本時の展開

配時	学習活動及び内容	指導上の留意点 (■ICT活用のねらいに対する支援)
3	1 本時の学習課題をつかむ。【わくわくタイム】 友達からアドバイスをもらい、話し方名人を目指そう。	■電子黒板に前時の様子や代表児童のスピーチを投影し、本時の学習課題を理解しやすくする。
30	2 4人グループになってお互いの動画を撮り、動画を見ながらアドバイスをして、話し方を改善する。【チームタイム】 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <活動の流れ> ① 話し手は、前回の反省を一言で話す。 例「今日は、目線に気をつけて話します。」 ② Webカメラでスピーチ動画を撮る。 ③ 撮った動画を見返しながら、聞き手にアドバイスをもらう。 ④ 話し手は、もらったアドバイスをメモする。 ※観点…強調・間の取り方・速さ・声の大きさ・目線 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <予想される児童の反応> ・もっとここは強めに話した方がいいよ。 ・この間が十分に取れていなかったよ。 ・もう少しゆっくり話した方がいいんじゃないかな。 ・もっと大きい声で話すと相手に伝わるよ。 ・目線を相手に向けてみるとういよ。 </div>	・改善点だけではなく、話し方の良さについても友達に伝えるように助言する。 ■必要ところは、動画を止めたり、巻き戻して見たりして、話し手にアドバイスが的確に伝わるようにする。 ■自分の姿を客観的に見て、自己のスピーチを改善できるようにする。 ・アドバイスがうまく伝えられないグループには、話し方チェックシートを活用するように助言する。 ■全員のスピーチを撮り終わったグループには、改善点を意識して再度動画を撮り直し、繰り返し確認するように助言する。 ■別教室にスタジオを用意してグループごとに撮影し、集中して動画を撮れるようにする。 ◎評価(話すこと・聞くこと)
10	3 全体で発表し、良くなったところや気がついたことについて話し合う。【全体タイム】 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <予想される児童の反応> ・最初の動画と今の動画を比べると、間の取り方が上手になったね。 ・△△さんにアドバイスをもらって直したら、とても聞きやすいスピーチになりました。 </div>	■前回のスピーチ動画と、今回のスピーチ動画を流し、変容が明確に分かるようにする。 ・多くの人の目でスピーチを見て、グループでは気付かなかった改善点や良さに気付けるようにする。
2	4 本時の学習を振り返る。【きらきらタイム】	・本時の学習で分かったこと・感じたことをノートに書き、発表し、次の学習につなげる。